

第2回赤穂総合学科新校準備委員会

次 第

準備委員会 (18時～20時)

進行：教頭

- 1 開会のことば
- 2 学校長挨拶
- 3 市立長野中学校・高等学校の取り組みについて
(市立長野中学校・高等学校長 菅沼 尚先生)
(休憩・換気)
- 4 視察報告
- 5 意見交換
- 6 事務連絡 (今後の日程など)
- 7 閉会のことば

第2回 赤穂総合学科進行準備委員会 (記録)

7月14日(木) 18:00～20:00 100周年記念館

進行 教頭

- 1 開会の言葉
- 2 学校長挨拶
 - ・ 第1回の会議 (5月24日) ありがとうございました。
 - ・ 6月27日に市立長野中学高校への視察が行われ、本日報告がある。
 - ・ 赤穂高校定時制は、再編・整備計画【三次】(案)で、「赤穂総合学科新校(仮称)」開校時に、新校定時制に移管本校の夜間定時制の存続について公表された。
 - ・ 市立長野中学高校長 菅沼 尚 先生の紹介
- 3 市立長野中学高校の取り組みについて 学校長 菅沼 尚 先生
パワーポイントで説明，スライドのプリントあり
 - (1) 時代は変わる
 - ・ 親の世代 30年前に総合学科ができた
 - ・ 子の世代 VUCAの時代 (人口減少，人生100年，ワークバランス，家族の多様化)
 - ・ 自らどうしたいかという，意志と実践力を育てること
 - ・ 若者の現状は？ ユニセフ総合ランキングでは精神的幸福度37位
 - ・ 幸福感 → やってみよう，ありがとう，あなたらしく，なんとかなる
 - ・ 幸福度をあげていくためには 主体性の尊重，自己肯定感を伸ばす (尾木ママ)

(2) 市立長野の総合学科

- ・ 理念1～4があり、立ち戻って考えている。軸がぶれずにいられ、大切
- ・ 翼プロジェクト 中学校から6年間にしていく
 - 1年次 産業社会と人間・私の探究・私を探究
 - 2年次 総合的な探求の時間・未来にはばたくマイプロジェクト
- ・ キャリアプロジェクトⅠⅡⅢ
 - 1年次からの課題設定が大切で力を入れている。
- ・ 「わくわくが止まらない」翼あるものプレゼン動画8分 三菱みらい育成・財団に応募
- ・ PLB(Project Based Learning) 課題解決型学習・市立長野では、実践体験型
- ・ 幅広い選択科目
- ・ 進路は、65%大学進学 30%専門学校、5%就職
- ・ 何が変わったか → 自分を語る力、自己決定力

(3) 新たな総合学科を考えるキーワード 「進学型」総合学科

- ・ 「どこ」にではなく「なに」をしていくかの共通認識が必要
- ・ 第三の学科として
- ・ 柔軟な教育課程 発想の転換 自分のカリキュラムを作る
- ・ 時代性 学年・学級制を疑うなど
- ・ 多様性 斜めの関係・校舎の画一性
- ・ 地域性 学校の独自性を出せる、Win-Winの関係

(4) 質疑応答

質問・・・ 従来の課題研究と、総合学科の違いは何か

回答・・・ 一歩先に行っている感じ、研究の前段階

/// 休憩 ///

4 市立長野中学高校視察報告（6月27日） 田中先生

3名視察に参加 プリントあり

I 基本情報

II 特徴付ける事柄

- ① 課題研究活動「翼プロジェクト」
- ② 校舎配置等における特徴
- ③ 学習内容 系列を作っているなど

III 赤穂高校を考える上でのキーワード ①時代性、②多様性、③地域性

- ・ スライドによる説明

机、フリースペース、ゴミステーション、ホール、体育館、屋上庭園

5 意見交換

・ 教頭

資料プリント 赤穂高校を総合学科高校に転換する。より

- ・ 特徴ある、尖った、過去に例のない高校
- ・ 自らの頭で考え、自らデザインをする
- ・ スーパーコミュニティーハイスクール（地方の小さな町で）
- ・ コミュニティー技術を学ぶ
- ・ 1年～3年の枠や、3年間にとらわれない
- ・ ハードの整備が不可欠
- ・ 出入り自由なカフェ、ビジネススペース、休日のイベントなどの、
- ・ 開放的な施設（体育施設など）
- ・ 今から、すでに始まっていると考え進めていくのが大切。
今の生徒が新しい学校づくりを考えるのも必要ではないか。
- ・ 今市内に居場所がない。高校の中にそのような場所を作るのは斬新な考え。
小学校、中学校、大学には JICA として入っていけるが、高校には入っていけない状況である。
- ・ キャリアを決めるためには高校が大切である。国際教育、ジェンダー教育などの、社会課題をあげていくと良いのではないか。
- ・ 学級・学年にとらわれない、枠をはずしたようなことをやってほしい
- ・ 階段下のフリースペース → カフェと同じ
市民開放講座 → 屋上庭園で野菜を作って食べる
- ・ 「温故知新」過去を砕いて、新しいものが出てくる。レガシー（遺産）を砕いて新しいものを作してほしい。
- ・ 1年生が学力高ければ3年生の授業を受けられるかということ、現実には厳しいのではないか。飛び級の認識がまだされていない。ネットでの悪口、自殺等ある。
- ・ 高校内のカフェについては、外の人が自由に入ってくることは危険ではないのだろうか。
- ・ 誰のための理念なのか？地域のためか、生徒のためかを考えてほしい。幸福度について
- ・ 多様性を持つ生徒が多い。ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインを持った高校を。

6 事務連絡

次回 9月7日(水) 18:00～ 於：100周年記念館

7 閉会の言葉